

平成 22 年度病虫害発生予察特殊報第 1 号

平成 22 年 11 月 30 日

発表：福島県病虫害防除所

病虫害名 ユキヤナギハマキフシダニ（仮称）【*Eriophyes* sp.】

寄主植物名（作物名） ユキヤナギ

1 発生状況

平成 21 年 9 月上旬に、県南地域のユキヤナギに葉縁巻き（はべりまき）症状がみられるとして、福島県農業総合センターに診断依頼があった。ユキヤナギの葉縁巻き部分を検鏡したところ、フシダニの一種と推測されたため、千葉県農林総合研究センターの上遠野富士夫氏に同定を依頼した結果、これまで発生が確認されていないユキヤナギハマキフシダニ（仮称）であることが判明した。

平成 22 年 9 月から 11 月に県内の主なユキヤナギ栽培地域を調査したところ、県南地域の他に県北及び県中地域でも本種と思われる寄生及び被害が確認され、ユキヤナギに広く寄生することが推定された。

2 形態及び生態

雌成虫は淡黄色のうじ虫型で、体長は 0.2mm 内外であり肉眼での確認は困難である（写真 1、2、3）。卵は球形半透明である。

本種は、国内で確認されている *Eriophyes* 属の既存種とは異なる初確認の種であり、生態は不明である。

3 寄主植物

現在確認されているのはユキヤナギのみである。

4 被害

本種が寄生したユキヤナギは、枝の先端部分から葉縁巻き症状が見られ、次第に株全体に葉縁巻き症状が拡大する（写真 4）。本種は、葉の縁が巻いた中に生息する。（写真 1、2）。

被害部位は、肉厚となりピンク色を呈し、古くなると褐色化する。被害が大きい場合には、葉物としての商品価値が著しく低下する。

平成 21 年に発生を確認したユキヤナギほ場では、本年 6 月上旬から葉縁巻き症状が現れ、8 月下旬にはほ場全体で確認された。

5 防除対策

本種に対する登録農薬はない。

本種の被害拡大を防ぐため、ユキヤナギ株の譲渡や他ほ場への植え替えはしない。

葉縁巻き症状のある枝は、埋却するなどして早期に処分する。



写真1 ユキヤナギハマキフシダニ（仮称）
の寄生状況



写真2 ユキヤナギハマキフシダニ（仮称）
の寄生状況（被害部位が褐色化）

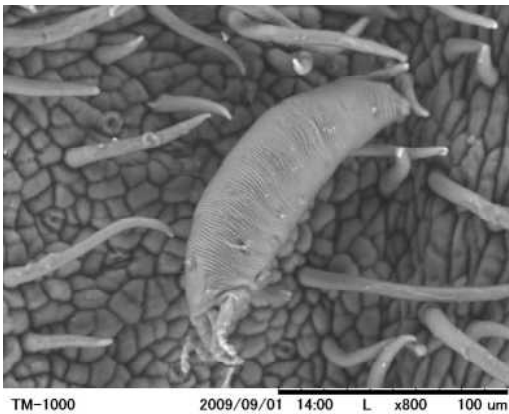


写真3 ユキヤナギハマキフシダニ（仮称）
の電子顕微鏡写真



写真4 ユキヤナギの葉縁巻き症状

問い合わせ先

福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病虫害防除所）

TEL：024-958-1709 FAX：024-958-1727 e-mail：yosatsu@pref.fukushima.jp